

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		荷物を置けるロッカーを用意したり上着を掛けるハンガーには名札を付ける等、児童にわかりやすく、構造化した環境となるよう努めています。またトイレには段差があるので職員が付き添っております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日、掃除・消毒・換気をおこなっております。また児童に合わせて活動ごとにスペースを分け3室にならないよう工夫し、心地よい環境設定を心がけております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		活動に応じて机などの配置を工夫し、個室では運動もできる空間を整え、必要に応じて個室でクールダウンができる環境を整えております。療育が必要な空間や場所は国で認められている環境になっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8		その日の勤務のなかで職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認、机の配置など話し合いの場を設けております。また毎月リフレクション会議を実施し、支援の改善点などの振り返りをおこない全職員が情報を共有できるように努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有し業務改善に繋げております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見を言いやすい環境設定に努め、毎日の引継ぎや毎月のリフレクション会議などで話し合いをおこない、業務改善に繋げております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		第三者による外部評価は現在実施しておりません。	今後の質の向上を図るための取り組みの一つとして検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		児童発達支援管理責任者が社内共通様式で標準化したアセスメントシートを使用し、計画の作成をしております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童発達支援管理責任者がモニタリング、アセスメントをおこない、原案を作成し、個別支援会議をおこなうなかで児童に関わる職員の意見も取り入れ計画内容を検討しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援をおこなえるように努めております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化したアセスメントツールと、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを組み合わせて児童の確認をしております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援管理責任者が中心となり、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。家族支援なども支援計画に盛り込み、家庭との連携を図っております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		療育の中でた課題やアイデアを職員全員で話し合いをおこない、共有し、活動プログラムに取り入れ、プログラムの立案しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		集団での機能訓練など、プログラムが固定化しないよう取り組んでおります。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育を基本とし、集団活動も取り入れながら、児童の特性に応じた支援計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日の引継ぎで前日の振り返りや、その日の支援内容や役割、療育場所について確認をしております。		
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	1	勤務時間の都合上、支援終了後に全職員での打ち合わせを毎日実施することは難しい場合もありますが、必要事項は当日中に共有し、翌日の引継ぎで確実に伝達する体制を整えております。今後も職員共有体制の強化に努めてまいります。	今後も職員間で支援の振り返りや情報共有をおこない連携を図ってまいります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援内容やその日の体調などを記録し、職員間で共有し支援の改善や検証に取り組んでおります。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		必ず6ヶ月以内にモニタリングをおこない、現状課題の把握をして計画の見直しの必要性を判断しております。		
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		会議前には職員間で話し合い、現状把握をおこなったうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	
		25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		協力医療機関や障害福祉、保育所、学校などの関係機関との連携体制を整えております。担当者会議や支援会にも積極的に参加できるようにしております。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有や相互理解を図っているか。	8		相談支援専門員を通して情報共有を図り、相互理解を図っております。		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有や相互理解を図っているか。	8		関係機関との担当者会議においては情報共有や情報提供をおこなうことで、相互理解に努めております。		
28		(28-30は、センターのみ回答)					
29		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	8		地域に児童発達支援センターが設置されていないため連携の機会が限られておりますが、今後設置された際には積極的に連携体制を構築してまいります。	現時点では他の関係機関との連携を通して質の向上に努めております。	
30		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
31		(31は、事業所のみ回答)					
32		地域の子どもの発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	8		地域に児童発達支援センターが設置されていないため連携の機会が限られておりますが、今後設置された際には積極的に連携体制を構築してまいります。	現時点では他の関係機関との連携を通して質の向上に努めております。	
33		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		相談支援専門員や関係機関を通して情報共有を図り、相互理解に努めております。	感染症などの流行状況をみながら、保育園や幼稚園との交流や活動の場を検討してまいります。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳に日々の姿や状況を記入し、送迎時にも再度その日の様子をお伝えし、日々共通理解を深めております。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		送迎時に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。またご家庭に訪問し、お悩みを聞いて解決に繋げるアドバイスをおこなっております。		
	36	保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっているか。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	37	送迎時、保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。またご家庭に訪問し、お悩みを聞いて解決に繋げるアドバイスをおこなっております。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	38	保護者様にご意向をお聞きしております。保護者様のご意向を踏まえ、目標ややりたいことを聞き、モニタリングに参加が難しい児童は利用時にやりたいことを聞くなどして目標を確認しております。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	39	ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。保護者様へは支援計画の内容を示す中で、わかりやすい言葉を使って説明し、計画の同意を得ております。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	40	電話、送迎時、面談をおこない、子育てのお悩みやご質問に助言などの支援に努めております。またご家庭におうかがいしてお悩みなどが解決できるように助言をおこなっております。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	41	感染症などの状況により、現時点では開催はできません。感染症などの流行状況を見て、事業所が企画する交流や活動の機会を提供してまいります。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。	感染症などの状況を見て、保護者様との交流や活動の場を検討してまいります。	
	42	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情窓口を定め、迅速かつ適切な対応ができるように整備に努めております。		
	43	公式WebサイトのブログやSNSで情報を発信し、季節ごとに「おたより」を発行しております。事業所の活動等も毎月おたよりで発信しております。	8		保護者様には、送迎時の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	44	個人情報取扱に十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書櫃にて厳重に保管しております。また、研修に参加し、個人情報の取り扱いについて全職員に周知徹底しております。		
	45	保護者様とは、送迎時間の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。	8		保護者様とは、送迎時間の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用し、保護者様には専門用語は使わず分かりやすく情報を伝えるように配慮しております。		
	46	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		感染症の状況や個人情報保護の観点から、現時点では地域住民を招待する行事は実施しておりません。	感染症などの状況や、個人情報保護の観点や保護者様のご意向を踏まえ、地域住民との交流や活動の場を検討してまいります。	
	非常時等の対応	47	各種マニュアルは玄関に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施し、おたよりなどで様子をお伝えしております。	8		各種マニュアルは玄関に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施し、おたよりなどで様子をお伝えしております。	
		48	業務継続計画(BCP)を計画を立てて実施し、非常災害を想定した訓練をおこなっております。避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的な実施をしております。連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の状況は次の月の連絡帳カレンダーを通して紹介しております。	8		各種マニュアルは玄関に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施し、おたよりなどで様子をお伝えしております。	
49		標準化したアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。また連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただきます。	8		標準化したアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。また連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただきます。		
50		指示書がある児童については、保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては全職員に周知しております。	8		指示書がある児童については、保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては全職員に周知しております。		
51		安全計画で年間の実施時期を決め、計画に沿った研修や訓練を実施しております。	8		安全計画で年間の実施時期を決め、計画に沿った研修や訓練を実施しております。		
52	事業所内で安全確保についての研修や訓練を実施しております。避難場所などの情報は、お手紙を配布して情報を共有しております。	8		事業所内で安全確保についての研修や訓練を実施しております。避難場所などの情報は、お手紙を配布して情報を共有しております。			
53	ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回収し、周知ミーティングをおこないながら、再発防止につなげております。	8		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回収し、周知ミーティングをおこないながら、再発防止につなげております。			
54	事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。また委員会を設置し定期的に開催して全職員に周知徹底をおこなっております。	8		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。また委員会を設置し定期的に開催して全職員に周知徹底をおこなっております。			
55	利用契約書に基づき原則として身体拘束をおこないませんが、万が一、生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合は、組織的に判断し、児童および保護者様へ十分な説明をおこない承諾を得たうえで、支援計画に記載し対応いたします。	8		利用契約書に基づき原則として身体拘束をおこないませんが、万が一、生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合は、組織的に判断し、児童および保護者様へ十分な説明をおこない承諾を得たうえで、支援計画に記載し対応いたします。			